

ベランダで野菜を栽培することが
社会課題の解決に
アグリセンサー『grow CONNECT』で
クラウドファンディングスタート



テクノロジーとエンターテインメントを通じ食と農の民主化を目指すスタートアップ、プランティオ株式会社（本社：東京都渋谷区 代表取締役 共同創業者CEO：芹澤 孝悦、以下 プランティオ）から、このたび、野菜栽培に必要な6つのセンサーを搭載したアグリセンサー『grow CONNECT』が新登場。8月1日(土)AM11時より、クラウドファンディング「Makuake」サイトにて数量限定で先行発売を開始いたします。



<https://www.makuake.com/project/grow-connect/>

2020年8月1日(土)AM11時より販売開始

『grow CONNECT』でできること

1、しっかり収穫できる



6つのセンサーがデータを測定。得られたデータをお住まいの地域に合わせて分析。アプリでタイムリーに、水やりや間引きのタイミングなど栽培アドバイスを通知してくれます。アドバイスに従ってお手入れを続けていけば、野菜をしっかりと栽培できるようにナビゲーションしてくれます。

2、スーパーでは見かけないレアな野菜も育てられる



古来より育てられてきた“伝統野菜”。生育までに時間や手間がかかったり、地域に合わせたお手入れが必要なことから、今では手に入りやすく、大変希少な伝統野菜も多くあります。そんなレアな野菜も、『grow CONNECT』の栽培サポートで挑戦することができます。

3、専門家から自分のためだけのアドバイスを受けられる



アプリには、野菜の生育やお手入れに不安があったとき、栽培専門家がデータと写真で診断するサービスがあります。自分が育てている野菜のためだけにカスタマイズされた栽培アドバイスを受けられるのです。

4、コミュニケーションのハブになるから、野菜栽培が楽しくなる



家族や友人とともに野菜栽培に取り組める機能を充実させています。例えば、同じ野菜を栽培している人同士のコミュニティ作り。栽培をしている中での不安なことを相談することができる機能です。また、野菜栽培のゴールを設定して、例えばBBQや夏野菜カレーなど、そこへ野菜を持ち寄るためにみんなで野菜を育てる、チャレンジアクティビティをお楽しみいただけます。

野菜栽培が社会課題の解決につながる

フードロスや食糧危機、自然環境の問題、食の安心・安全など、食と農には、大量生産・大量消費型から起因する様々な社会課題があります。特に日本の農業において、これらの課題の解決のキーとなるのは、海外ではスタンダードになりつつある“野菜を買う”という一択だけではない、“民主”が主役の農、食の民主化であると考えています。

テクノロジーの力を駆使し、データ分析を行うことで、自宅のベランダでも、しっかりと野菜を収穫することができます。

自宅で栽培している野菜は、必要な量を、必要な時に、必要な分だけ、採れたてを楽しむことができます。

“野菜を買う”以外の選択肢が市民の中に生まれることにより、野菜をどのように手に入れるか、その背景まで意識するように

COVID-19の影響でご自身で野菜を育てる方が増えていますが、一人一人が野菜を育てることはその第一歩であり、プランティオでは、ご自宅のベランダやビルの屋上、マンションの一室などを畑にして、野菜がいつでもどこでも誰でも育てられるサービス『grow』を展開しています。『grow CONNECT』は、その『grow』というサービスのコアとなるアグリセンサーです。

『grow CONNECT』の機能



【土壌温度計と土壌湿度計】

土壌の温度を積算で計算することで発芽などのタイミングを予測、また土壌の湿度も計測可能で水やりのベストなタイミングをお知らせします。

【日照センサー】

育てている野菜に対して日照が足りているか？を分析し教えてくれます。また、同じ野菜を育てている人と比べて自分の育てている環境の日照が足りているのか？などのアドバイスも行います。

【外気温センサーと湿度センサー】

実際に野菜が育っている“その場所”の気温と湿度を計測し、その野菜に適切かどうかをアドバイスしてくれます。

【195°広角カメラ】

野菜栽培で最も重要な発芽時から約120cm程度の丈まで育っても見守れる広角のレンズを搭載。野菜の一生を記録できます。

野菜を育てるユーザーが増えれば増えるほど学習・進化するAI搭載

将来的には、どの地域で何の野菜がどのように栽培可能か、一目でわかるように

“的確な栽培アドバイス”を実現するコンシューマ向け野菜栽培オペレーティングシステム『grow OS』。
Crowd(群衆)からクラウドにアップロードされたデータを位置情報・天候情報と補完しAIが解析。栽培する位置情報から逆算し栽培を予測。ユーザーが増えれば増えるほど学習・進化するAIを搭載しています。



リターン製品の紹介

*数量限定。なくなり次第終了とさせていただきます。
*金額はご注文時期やお届け時期の異なる、各メニューによって異なります。



野菜栽培をエンジョイしてしっかり収穫をしたい
スタンダードセット
税込・送料込 19,800円～

- ・Grow CONNECT×1台
- ・固定種のタネ2袋



野菜栽培をハブに、離れた家族や友人と楽しみたい
シェア割
税込・送料込 36,800円～

- ・Grow CONNECT×2台
- ・固定種のタネ4袋



野菜栽培をこれから始める方へ
野菜栽培スターターキット
税込・送料込 23,800円～

- ・Grow CONNECT×1台
- ・固定種のタネ2袋
- ・grow×LFCコンポストコラボ
バッグ型 不織布プランター×1袋 (容量約16L)
- ・growおすすめの鉢底石と培養土×1セット



栽培経験者のあなたには—
コンポストセット
税込・送料込 23,800円～

- ・Grow CONNECT×1台
- ・固定種のタネ2袋
- ・grow×LFCコンポストコラボ コンポストバッグ
(虫の侵入を防ぐファスナー付き)×1袋 (容量約20L)
- ・専用紙袋+コンポスト基材×1セット

『grow CONNECT』製品概要

本体サイズ	w55.4*d119.3*h219.8mm
重量	185g
カメラ	3MPixel
撮影頻度	3回/日
センサー種類	6種
センサー測定頻度	1回/時間
連続駆動時間	約2か月(使用環境による)
充電時間	約3～4時間
対応アプリ	grow GO(Android8.0以上/iOS12以上)



本リリースに関するお問い合わせ

プランティオ株式会社PR担当 E-mail:info@plantio.com

今後の方向性

現在開発中のものとして、プランターと、土があります。プランターは自然環境をコンパクトに再現した底面給水機構を採用、石油由来のプラスチックを使わず、地球環境にやさしい材質で製造されています。また土は、火力発電所から捨てられている炭や、捨てられているココヤシピートなどを再利用した地球にやさしい人工培養土。微生物を入れたバイオカプセルを投入することで土化する技術で特許を取得しています。どちらも年明けに発売を予定しています。



代表者コメント

【代表取締役 共同創業者 CEO：芹澤 孝悦】

わたしたちプランティオは創業以来、既存の『農業』のみに頼らない自分たちで育てるという民主的な食と農を提唱してきました。みんなでたのしく野菜を育てる世界を目指して、野菜栽培の障壁となっている物やことを一つ一つ洗い出し、アグリカルチャーにエンターテインメントを掛け合わせ解決策を模索してきました。

そしていよいよ『grow CONNECT』という製品をみなさまのお手元へお届けできる事となりました。

非常にちいさな一歩ですが、これにより"食の民主化"への大きな一歩が踏み出せればと考えております。



最新情報はこちら

